

◎ 指示があるまで開かないこと。

(令和7年2月16日 14時20分～17時50分)

注意事項

- 試験問題の数は120問で解答時間は正味3時間30分である。
- 解答方法は次のとおりである。
 - (例1)、(例2)及び(例3)の問題では1から4までの4つの選択肢、もしくは1から5までの5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した選択肢を(例1)、(例2)では1つ、(例3)では2つ選び答案用紙に記入すること。
 なお、(例1)、(例2)の質問には2つ以上解答した場合は誤りとする。(例3)の質問には、1つ又は3つ以上解答した場合は誤りとする。

(例1)

201 看護業務を行うことが可能となるのはどれか。

- 国家試験受験日以降
- 合格発表日以降
- 合格証書受領日以降
- 看護師籍登録日以降

正解は「4」であるから答案用紙の④をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

201	①	②	③	④
			↓	
201	①	②	③	●

答案用紙②の場合、

201	201
①	①
②	②
③	③
④	●

→

れい
(例 2)

202 保健師助産師看護師法が制定された年はどれか。

1. 明治 32 年(1899 年)
2. 大正 4 年(1915 年)
3. 昭和 23 年(1948 年)
4. 昭和 43 年(1968 年)
5. 平成 13 年(2001 年)

正解は「3」であるから答案用紙の③をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

202	①	②	③	④	⑤
			↓		
202	①	②	●	④	⑤

答案用紙②の場合、

202	202
①	①
②	②
③	→ ●
④	④
⑤	⑤

れい
(例 3)

203 看護師籍に登録されるのはどれか。2つ選べ。

1. 生年月日
2. 受験年月日
3. 卒業年月日
4. 就業年月日
5. 登録年月日

正解は「1」と「5」であるから答案用紙の①と⑤をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

203	①	②	③	④	⑤
			↓		
203	●	②	③	④	●

答案用紙②の場合、

203	203
①	●
②	②
③	→ ③
④	④
⑤	●

- (2) 計算問題については、に囲まれた丸数字に入る適切な数値をそれぞれ1つ選び答案用紙に記入すること。なお、(例4)の質問には丸数字1つにつき2つ以上解答した場合は誤りとする。

(例4)

204 50床の病棟で入院患者は45人である。

この病棟の病床利用率を求めよ。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第1位を四捨五入すること。

解答： ① ② %

① ②

0 0

1 1

2 2

3 3

4 4

5 5

6 6

7 7

8 8

9 9

正解は「90」であるから①は答案用紙の⑨を②は①をマークすればよい。

答案用紙①の場合、

①	0	1	2	3	4	5	6	7	8	
204		1	2	3	4	5	6	7	8	9

答案用紙②の場合、

204	①	②
	0	
	1	1
	2	2
	3	3
	4	4
	5	5
	6	6
	7	7
	8	8
		9

1 日本^{にほん}の令和^{れいわ}4年^{ねん}(2022年^{ねん})の人口動態統計^{じんこうどうたいとうけい}で、女性^{じょせい}の死亡数^{しぼうすう}が最も多い^{もっともおお}

悪性新生物^{あくせいしんせいぶつ}〈腫瘍^{しゅよう}〉の発生部位^{はっせいぶい}はどれか。
malignant neoplasm

1. 肺^{はい}
2. 子宮^{しきゅう}
3. 大腸^{だいちょう}
4. 乳房^{じゅうぼう}

2 令和^{れいわ}2年^{ねん}(2020年^{ねん})の患者調査^{かんじゃちょうさ}で外来受療率^{がいらいじゅりょうりつ}が最も多い傷病^{しょうびょう}はどれか。

1. 喘息^{ぜんそく}
asthma
2. 糖尿病^{とうにょうびょう}
diabetes mellitus
3. 高血圧性疾患^{こうけつあつせいしっかん}
hypertensive disease
4. 悪性新生物^{あくせいしんせいぶつ}〈腫瘍^{しゅよう}〉
malignant neoplasm

3 健康問題^{けんこうもんだい}を引き起こす大気汚染物質^{たいきおせんぶつしつ}はどれか。

1. 有機水銀^{ゆうきすいぎん}
2. カドミウム
3. ホルムアルデヒド
4. 光化学オキシダント^{こうかがく}

4 国民健康保険^{こくみんけんこうほけん}の保険者^{ほけんじや}に含まれるのはどれか。
ふく

1. 後期高齢者医療広域連合^{こうきこうれいしゃいりょうこういきれんごう}
2. 共済組合^{きょうさいくみあい}
3. 都道府県^{とどうふけん}
4. 国^{くに}

5 保健師助産師看護師法に定められている事項はどれか。

1. 離職時の届出
2. 免許付与時の欠格事由
3. 定期健康診断の実施義務
4. 都道府県ナースセンターの指定

6 疾病や障害に対する二次予防の具体的な取り組みはどれか。

1. がん検診
2. 予防接種
3. リハビリテーション
4. 健康づくりのための運動

7 妊娠初期の感染で児に難聴が生じる可能性が高いのはどれか。

1. 水痘
varicella
2. 風疹
rubella
3. 麻疹
measles
4. 流行性耳下腺炎
mumps

8 老年期の身体機能の変化で正しいのはどれか。

1. 耐糖能は向上する。
2. 尿濃縮力は向上する。
3. 薬物代謝は遅延する。
4. 肺の残気量は減少する。

9 地域包括支援センターの主な業務に含まれるのはどれか。

1. 特定健康診査・特定保健指導
2. 予防接種法に基づく予防接種
3. 介護予防ケアマネジメント
4. 要介護認定調査

10 医療法に基づき高度医療の提供とそれに関する研修を実施する医療施設はどれか。

1. 地域医療支援病院
2. 臨床研究中核病院
3. 特定機能病院
4. 診療所

11 左心房と左心室の間にある弁はどれか。

1. 三尖弁
2. 僧帽弁
3. 大動脈弁
4. 肺動脈弁

12 胆汁の作用はどれか。

1. 脂肪の乳化
2. 蛋白質の分解
3. 胃酸分泌の促進
4. 炭水化物の分解

13 臓器ぞう きの移植いしょく かんに関する法律ほうりつにおいて脳死のう しの判定基準はんてい きじゅんとなっている検査けんさはどれか。

1. 脳波検査のう は けん さ
2. 筋電図検査きんでん ず けん さ
3. 神経伝導検査しんけいでんどうけん さ
4. 脳脊髄液検査のうせきずいえきけん さ

14 慢性閉塞性肺疾患まんせいへいそくせいはいしつかん〈COPD〉の危険因子き けんいん しはどれか。
chronic obstructive pulmonary disease

1. 花 粉か ふん
2. 薬 物やく ぶつ
3. たばこ煙えん
4. アルコール

15 咯血かっけつを症状しょうじょうとする疾患しつかんはどれか。

1. 結 核けっ かく
tuberculosis
2. 胃潰瘍い かいよう
gastric ulcer
3. 大腸癌だいちょうがん
colon cancer
4. 敗血症はいけつしょう
sepsis

16 胃癌い がんの Virchow〈ウイルヒョウ〉転移てん い しようが生じる部位ぶ いはどれか。
gastric cancer

1. 肺はい
2. 肝 臓かん ぞう
3. ダグラス窩か
4. 左鎖骨上窩ひだり さ こつじょう か

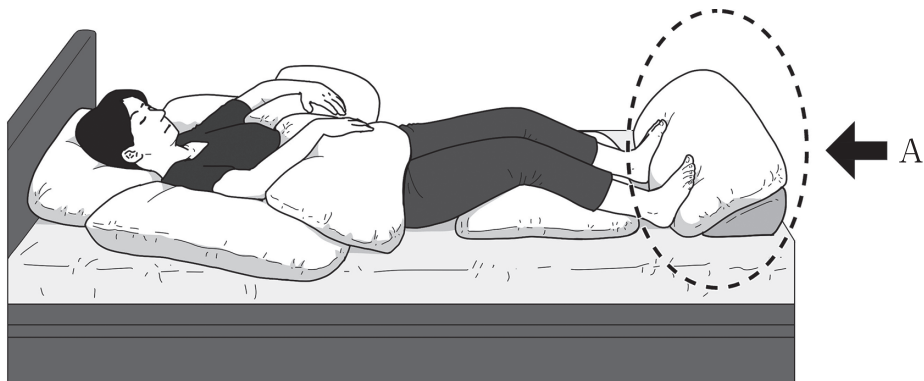
17 インスリン療法で正しいのはどれか。

1. 毎回同じ部位に注射する。
2. 有害事象は低血糖である。
3. 就寝前は超速効型製剤を使用する。
4. 2型糖尿病の治療法として必須である。
type 2 diabetes mellitus

18 看護過程で適切なのはどれか。

1. 医師の指示に基づいて看護問題の優先順位を決定する。
2. 実施、評価の2段階で構成される。
3. 潜在する問題を取り上げない。
4. 評価可能な目標を設定する。

19 長期臥床している患者の仰臥位時のポジショニングを図に示す。



Aの位置にクッションを挿入する目的はどれか。

1. 褥瘡の予防
2. 尖足の予防
3. 腓骨神経麻痺の予防
4. 深部静脈血栓症の予防
deep vein thrombosis

20 ひだりぜんわん じ ぞくてんてきじょうみやくないちゅうしゃ かんじゃ こう い てきせつ
左前腕に持続点滴静脈内注射をしている患者の更衣で適切なのはどれか。

1. ひだりそで ぬ みぎそで き
左袖から脱ぎ、右袖から着る。
2. ひだりそで ぬ ひだりそで き
左袖から脱ぎ、左袖から着る。
3. みぎそで ぬ ひだりそで き
右袖から脱ぎ、左袖から着る。
4. みぎそで ぬ みぎそで き
右袖から脱ぎ、右袖から着る。

21 にゅういんちゅう てんとう てんらく ないてきよういん
入院中の転倒・転落の内的要因はどれか。

1. はきもの しゅるい
履物の種類
2. ふくようちゅう やくざい
服用中の薬剤
3. さく い ち
ベッド柵の位置
4. トイレまでの きょり
距離

22 けい び けいかんえいようほう い えき きゅういん かくにん
経鼻経管栄養法で胃液が吸引できることを確認するタイミングはどれか。

1. かくせい じ
覚醒時
2. にゅうみんまえ
入眠前
3. けいかんえいようざい とう よ ちよくぜん
経管栄養剤の投与直前
4. けいかんえいようざい とう よ しゅうりょう じ
経管栄養剤の投与終了時

23 ゆ けつようけつえきせいざい ふんるい
輸血用血液製剤に分類されるのはどれか。

1. めんえき せいざい
免疫グロブリン製剤
2. けつえきぎょう こ いん し せいざい
血液凝固因子製剤
3. アルブミン せいざい
アルブミン製剤
4. せつけつきゅうせいざい
赤血球製剤

24 1 回の鼻腔内吸引で陰圧をかける時間の目安として適切なのはどれか。

1. 10 秒以内
2. 20～25 秒
3. 30～35 秒
4. 40～45 秒

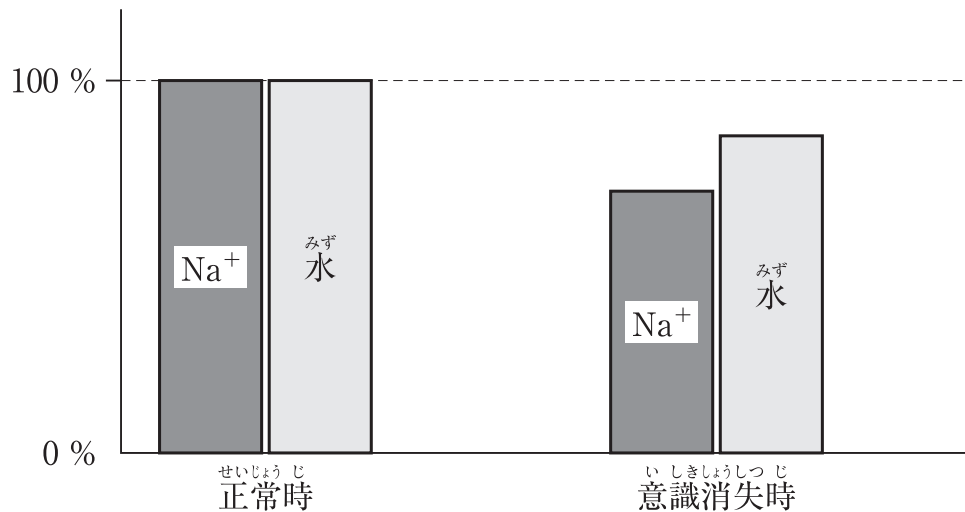
25 創傷の治癒過程でマクロファージによる貪食が行われるのはどれか。

1. 出血・凝固期
2. 炎症期
3. 増殖期
4. 成熟期

26 血漿中の重炭酸イオン濃度が基準値よりも高くなるのはどれか。

1. 過換気
2. 腎不全
3. 重篤な 1 型糖尿病
4. 慢性的な換気障害

27 A 君(15 歳、男子)は、蒸し暑い夏の午後に行われたサッカーの試合に出ていた。A 君は試合中に大量の汗をかいて、気分が悪くなったので多量の水道を飲み、日陰で休んでいたが、突然、意識消失して倒れた。このときの A 君の細胞外液のナトリウムイオン濃度と水分量の正常時に対する割合を図に示す。



このときの A 君の体液の状態正しいのはどれか。

1. 細胞内液は減少している。
2. 血漿浸透圧は上昇している。
3. 循環血液量は減少している。
4. ヘマトクリットは低下している。

28 ヘリコバクター・ピロリ感染症で正しいのはどれか。
Helicobacter pylori infection

1. 尿素呼気検査は診断に有用である。
2. 除菌後の判定は除菌終了後の翌日に行う。
3. ヘリコバクター・ピロリ(Helicobacter pylori)は胃の粘膜下層に生息する。
4. ヘリコバクター・ピロリ(Helicobacter pylori)は尿素を作り出して胃酸から身を守る。

29 こうれいしゃぎゃくたい ぼうし こうれいしゃ ようごしゃ たい しえんとう かん ほうりつ こうれいしゃぎゃくたいぼう
高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律〈高齢者虐待防
止法〉で保護された高齢者が入所する社会福祉施設はどれか。

1. 軽費老人ホーム
2. 有料老人ホーム
3. 特別養護老人ホーム
4. サービス付き高齢者向け住宅

30 なんびょう かんじゃ たい いりょうとう かん ほうりつ なんびょうほう きてい
難病の患者に対する医療等に関する法律〈難病法〉に規定されているのはどれか。

1. 市町村が難病相談支援センターを設置する。
2. 指定難病の医療費は全額を公費で負担する。
3. 令和4年度(2022年度)の指定難病数は56疾病である。
4. 特定医療費(指定難病)の支給認定は居住地の都道府県・指定都市が行う。

31 フィンク, S. L. が提唱した危機モデルの最終段階はどれか。
Fink, S. L.

1. 受 容
2. 適 応
3. 問題解決
4. ラポール

32 にゅういん ま かた ま ひ かんじゃ き が
入院して間もない片麻痺がある患者から「着替えがうまくできない。ひとりでで
きるようになりたい」と訴えがあった。

さいしよ おこな かん ご し たいおう もっと てきせつ
最初に行う看護師の対応で最も適切なものはどれか。

1. 「繰り返し練習しましょう」
2. 「できないところは手伝います」
3. 「着替えるところを見せてください」
4. 「着替えのパンフレットを参考にしましょう」

33 う^{けつにゅうとう}っ^{しゅつげん}血乳頭が出現するのはどれか。

1. 舌^{ぜつ} 癌^{がん}
tongue cancer
2. 貧^{ひん} 血^{けつ}
3. 門脈^{もんみゃく}圧^{あつ}亢^{こう}進^{しん}
4. 頭蓋^ず内^{がいない}圧^{あつ}亢^{こう}進^{しん}

34 シリンジポンプを使用する際に生じるサイフォニング^{げんしょう}現象^{げんいん}の原因はどれか。

1. 内蔵^{ないぞう}バ^{ざん}ッ^{りょう}テ^{すく}リ^りーの残量が少ない。
2. 輸^ゆ液^{えき}ラ^{けつ}イン^{えき}に血^ぎ液^{やく}の逆^{ぎやく}流^{りゅう}がある。
3. 輸^ゆ液^{えき}ラ^{たい}イン^{りょう}に大^く量^うの空^{くう}気^きがある。
4. 刺^し入^{にゅう}部^ぶとシリンジに高^{こう}低^{てい}差^さがある。

35 嚥^{えん}下^げ障^{しょう}害^{がい}を評^{ひょう}価^かする改^{かい}訂^{てい}水^{みず}飲^のみテ^たス^だトで正^{ただ}しいのはどれか。

1. 嚥^{えん}下^げ後^ご 10 秒^{びょう}間^{かん}で評^{ひょう}価^かする。
2. 嚥^{えん}下^げ後^ごの呼^こ吸^{きゅう}状^{じょう}態^{たい}を評^{ひょう}価^かする。
3. 嚥^{えん}下^げ動^{どう}作^さの準^{じゅん}備^び期^きを評^{ひょう}価^かする。
4. 80 mL の水^{みず}で嚥^{えん}下^げ状^{じょう}態^{たい}を評^{ひょう}価^かする。

36 人^{じん}工^{こう}肛^{こう}門^{もん}周^{しゅう}囲^いの皮^ひ膚^ふを清^{せい}潔^{けつ}にする方^{ほう}法^{ほう}で適^{てき}切^{せつ}なものはどれか。

1. 装^{そう}具^ぐを外^{はず}して洗^{せん}浄^{じょう}する。
2. 石^{せつ}けんは使^し用^{よう}しない。
3. 洗^{せん}浄^{じょう}後^ごに消^{しょう}毒^{どく}をする。
4. 洗^{せん}浄^{じょう}後^ごはド^{かん}ラ^{そう}イ^そヤーで乾^{かん}燥^{そう}させる。

37 半座位で頸静脈怒張がみられるのはどれか。

1. 右心不全
right heart failure
2. 広範囲熱傷
extensive burns
3. 大動脈瘤破裂
ruptured aortic aneurysm
4. アナフィラキシーショック
anaphylactic shock

38 経口薬と飲料の関係で正しいのはどれか。

1. テトラサイクリン系抗菌薬は、牛乳によって作用が減弱される。
2. 非ステロイド性抗炎症薬は、炭酸飲料によって吸収速度が速まる。
3. テオフィリンは、カフェインを含む飲料によって作用が減弱される。
4. カルシウム拮抗薬は、グレープフルーツジュースによって作用が減弱される。

39 Holter〈ホルター〉心電図検査の説明で正しいのはどれか。

1. 就寝時は電極を外す。
2. 電極は四肢に装着する。
3. 検査中は電気カーペットを使用しない。
4. 検査中は普段の生活よりも活動量を減らす。

40 訪問看護事業所について正しいのはどれか。

1. 24時間対応が義務付けられている。
2. 自宅以外への訪問看護は認められない。
3. 特定非営利活動法人〈NPO〉は事業所を開設できる。
4. 従事する看護師は臨床経験5年以上と定められている。

41 ^{とうりょうびょう}糖尿病の^{ざいたくりょうようしゃ}在宅療養者の^{おこな}行う^{せつめい}フットケアの^{てきせつ}説明で適切なのはどれか。

1. 「^{すあし}素足で^す過ごしましょう」
2. 「^{あし}足の^{ひふ}皮膚を^{ほしつ}保湿してください」
3. 「^{そくよく}足浴には^ゆ42℃のお湯を^{つか}使ってください」
4. 「^{つめ}爪は^{ゆび}指の^{せんたん}先端よりも^{みじか}短く^き切ってください」

42 ^{いろう}胃瘻からの^{けいかんえいよう}経管栄養を行う^{おこな}在宅療養者の^{かぞく}家族に^{せつめい}説明する^{ないよう}内容で^{ただ}正しいのはどれか。

1. ^{りゅうどう}流動(ミキサー)食は^{しよく}注入^{ちゅうにゅう}できる。
2. ^{ちゅうにゅうまえ}注入前に^{いろう}胃瘻の^{ろうこう}瘻孔部を^{しょうどく}消毒する。
3. ^{いろう}胃瘻カテーテルは^{しゅう}週に^{かいこうかん}1回交換する。
4. ^{ちゅうにゅうちゅう}注入中は^{たいい}体位を^ど15度のFowler<ファウラー>^い位にする。

43 Aちゃん(1歳7か月、^{さい}女児)は^{げつ}先天性^{じょじ}水頭症のため^{せんてんせいすいとうしょう}脳室－^{のうしつ}腹腔^{ふくくう}(V-P)シャント造^{ぞう}設術を受けて^う退院した。^{たいいん}Aちゃんは^は歩行^は障害があり、^{ははおや}母親が^{ひとり}1人で^{そだ}育てている。
^{たいいん}退院後、^{ほうもんかん}訪問看護師が^{ごし}訪問すると、^{ほうもん}Aちゃんの^{ははおや}母親は「^こ子どもが^な泣くとイライラします。^{さき}この先^{そだ}Aを^{じしん}育てていく^{けいざいてき}自信がなく、^{せいかつ}経済的にも^{ふあん}生活していけるか不安です」
^{はな}と話した。

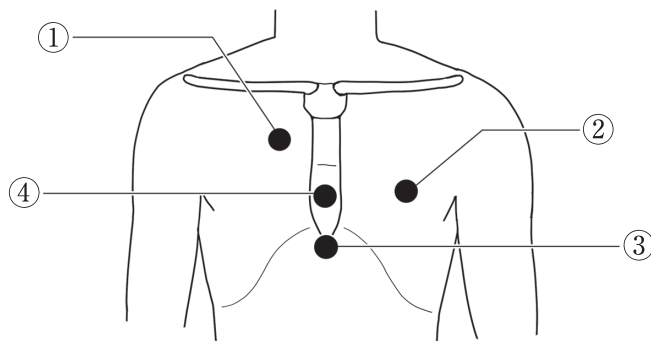
このとき、^{ほうもんかん}訪問看護師が^{ごし}母親に^{ははおや}勧める^{すす}相談先で^{そうだんさき}最も^{もつと}適切な^{てきせつ}のはどれか。

1. ^{きょじゅう}居住地の^{しゃかいふくし}社会福祉協議会^{きかい}
2. ^{きょじゅう}居住地の^{ほけん}保健センター
3. ^{しょうがい}障害児の^こ子育て^{そだ}グループ
4. ^{にゅういん}入院していた^{びょういん}病院の^{いりょうそうだんしつ}医療相談室

44 ^{ち いきほうかつ}地域包括ケアシステムの^{こうせいよう そ}構成要素はどれか。

1. ^{こう つう}交 通
2. ^{こ よう}雇 用
3. ^{じょう ほう}情 報
4. ^す住まい

45 ^{せいじん しんぱい そ せいほう}成人の心肺蘇生法における^{あつぱくぶ い}圧迫部位を^{ず しめ}図に示す。



^{ただ}正しいのはどれか。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④

46 ^{こう じ の う き の う し ょ う が い}高次脳機能障害のある^{かんじゃ}患者が^か買い物に行った際に^{もの}示す^い行動で^{さい しめ}失行は^{こうどう}どれか。^{しつこう}

1. ^{なに か き わす}何を買いに来たのか忘れる。
2. ^{か もの つか かた わ}買い物かごの使い方が分からない。
3. ^{こんだて あ か もの}献立に合わせた買い物ができない。
4. ^{じたく おうふく みち まよ}スーパーと自宅の往復で道に迷う。

47 乳房温存療法で放射線治療を受ける乳癌患者への説明で適切なのはどれか。
にゅうぼうおんぞんりょうほう ほうしやせん ちりょう う にゅうがんかんじゃ せつめい てきせつ
breast cancer

1. 「頭髪^{とうはつ}の脱毛^{だつもう}が生^{しょう}じます」
2. 「嚥下^{えんげ}障害^{しょうがい}が予測^{よそく}されます」
3. 「皮膚^{ひふ}にマーキング^{おこな}を行います」
4. 「同居家族^{どうきよ かぞく}への被曝^{ひばく}に注意^{ちゅうい}してください」

48 臨死期^{りんし き}にある患者^{かんじゃ}に出現^{しゅつげん}する呼吸^{こきゅう}の変化^{へんか}で正しいのはどれか。ただ

1. 過呼吸^{か こきゅう}
2. 奇異呼吸^{き い こきゅう}
3. Kussmaul〈クスマウル〉呼吸^{こきゅう}
4. Cheyne-Stokes〈チェーン-ストークス〉呼吸^{こきゅう}

49 超音波ガイド下^{ちょうおん ば}で肝生検^{か かんせいけん}を受ける成人^{う せいじん}への説明^{せつめい}で正しいのはどれか。ただ

1. 「検査前^{けん さまえ}の絶食^{ぜつしょく}は不要^{ふよう}です」
2. 「検査^{けん さ}はうつぶせ^{じっし}で実施^{じっし}します」
3. 「検査中^{けん さ ちゅう}は指示^{し じ}に合わせて息^あを止^いめてく^とださい」
4. 「検査後^{けん さ ご}すぐ^ほに歩行^{こう}できます」

50 A さん(42 歳、男性)は、同僚との飲酒中に上腹部から背部の激しい痛みと嘔吐があり、救急搬送された。搬送時の心電図には異常を認めない。

A さんの状態をアセスメントするための血液検査項目で優先度が高いのはどれか。

1. アルブミン
2. トロポニン
3. 中性脂肪
4. リパーゼ

51 伝音性難聴について正しいのはどれか。

1. 加齢で増悪する。
2. 鼓膜穿孔は原因となる。
3. 内耳から中枢側の障害で発生する。
4. アミノグリコシド系抗菌薬が原因である。

52 散瞳薬を用いた眼底検査を受ける成人への説明で適切なのはどれか。

1. 「角膜を観察します」
2. 「検査後に抗菌薬を点眼します」
3. 「眼を閉じた状態で検査室に誘導します」
4. 「点眼後 30 分で散瞳薬の効果が現れます」

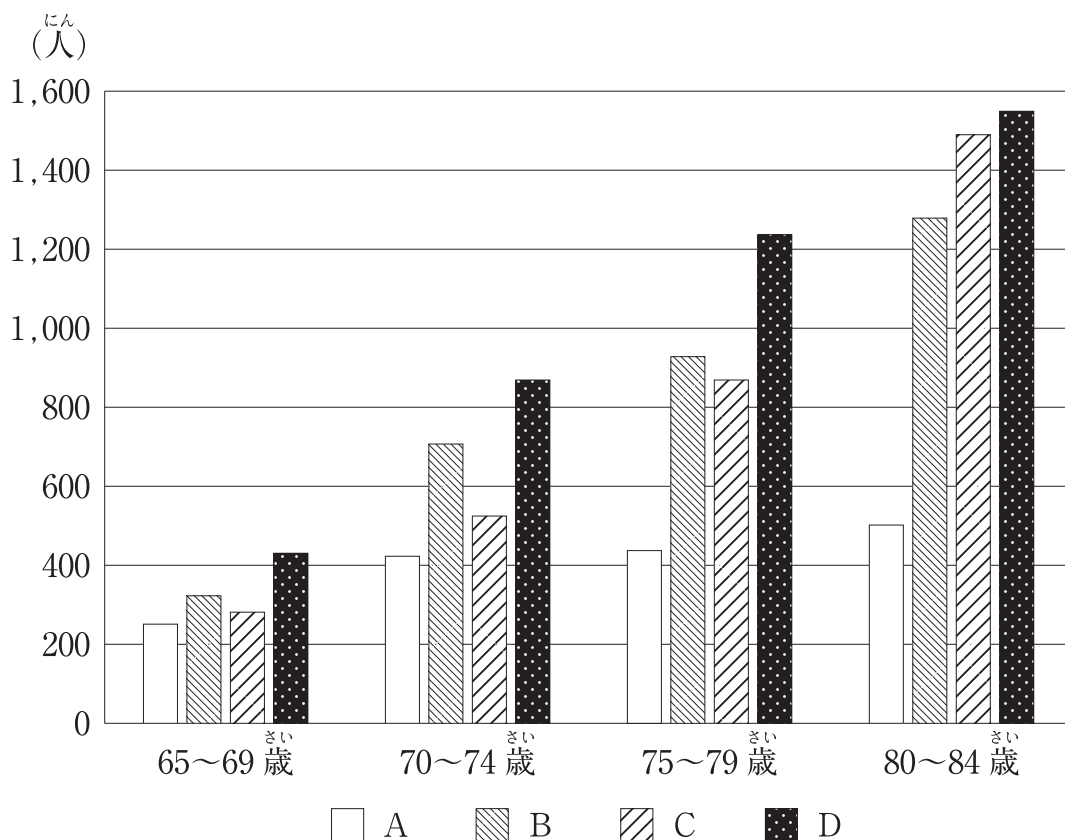
53 梅毒について正しいのはどれか。

1. ワクチンによる予防が可能である。
2. パートナーの検査は不要である。
3. ウイルス感染症である。
4. ばら疹を認める。

54 高齢者の看護におけるストレングスモデルの説明で適切なものはどれか。

1. 自分で健康行動を判断して決められるよう支援すること
2. 高齢者自身が健康的な生活を送るための活動を支援すること
3. 健康課題の解決に向けて自分の能力を活かせるよう支援すること
4. 特定の健康課題について効果的に遂行できるという自信を高めるよう支援すること

55 日本の令和3年(2021年)の人口動態統計に基づく、65歳以上85歳未満における不慮の事故による死亡状況をグラフに示す。



Dはどれか。

1. 窒息
2. 交通事故
3. 溺死及び溺水
4. 転倒、転落、墜落

56 A さん(81^{さい} 歳、^{だんせい} 男性)は、^{だいちょうない しきょうけん さ} 大腸内視鏡検査を^う 受けることになった。

^{けん さ まえ} 検査前に A さんへ^{かん ご し} 看護師が^{かくにん} 確認する^{こうもく もっと ゆうせん} 項目で最も優先されるのはどれか。

1. ^{ぎ し しよう} 義歯の使用
2. ^{はくないしろう う む} 白内障の有無
cataract
3. ^{ほ じ し せい} 保持できない姿勢
4. ^{ぜんりつせん ひ だいしろう う む} 前立腺肥大症の有無
prostatic hyperplasia

57 ^{ぜんしん ま すい か} 全身麻酔下で^{はいせつじょじつ} 肺切除術を^う 受ける^{こうれいしゃ} 高齢者への^{せつめい ゆうせん ど たか} 説明で優先度が高いのはどれか。

1. ^{じつぜん} 術前に^{じよう} ベッド上で^{はいせつ れんしろう} 排泄の練習をすること
2. ^{じつぜん} 術前に^{しゅじつ ぶ かん ご し} 手術部看護師の^{ほうもん} 訪問があること
3. ^{じつぜん} 術前に^{しん こ きゅう} 深呼吸や^{はいたん れんしろう} 排痰の練習をすること
4. ^{じつ ご し し} 術後に^{じ どううんどう} 四肢の自動運動をすること

58 ^{よう し えん} 要支援 1 の^{にんてい} 認定を受けた^う 高齢者が、^{かい ご よ ぼうつうしよ} 介護予防通所リハビリテーションの^{り よう かい} 利用を開^し 始した。「^{ふ だん} 普段から^{なん ど} トイレに^い 何度も^{ひんによ う き} 行く」と頻尿を気にしている。

^{し せつ} 施設にいる^{かん ご し} 看護師の^{えんじょ} 援助で^{てきせつ} 適切なのはどれか。

1. ^{し せつ} 施設の^{ば しょ} トイレの^{いっしょ} 場所を^{かくにん} 一緒に確認する。
2. ^{くるまい す} 車椅子で^{い ぞう} トイレに移送する。
3. ^{かみ} 紙オムツの^{し ょう} 使用を^{すす} 勧める。
4. ^{はいせつ じ} 排泄時に^{こう い} 更衣を^{かいじょ} 介助する。

59 標準的な成長・発達^{ひょうじゅんてき せいちょう はったつ}をしている4歳^{さい}の男児^{だんじ}に対して採血^{さいけつ}を行う。看護師^{かんごし}が男児^{だんじ}に採血^{さいけつ}についてのプレパレーション^{じっし}を実施した。

その後^ごに伝える^{つた}ことで適切な^{てきせつ}のはどれか。

1. 「痛^{いた}くないよ」
2. 「すぐ^おに終わっちゃうよ」
3. 「何^{なに}か聞^ききたいことはないかな」
4. 「やらないと病^{びょう}気^きになっちゃうよ」

60 標準的な成長・発達^{ひょうじゅんてき せいちょう はったつ}をしている子どもが「ばい菌^{きん}が体内^{たいない}に入^{はい}ることで病^{びょう}気^きになる」
と考^{かんが}えるようになるのは、ピアジェ^{Piaget, J.}, J. の認^{にん}知^ち的^{てき}発^は達^{たつ}段^{だん}階^{かい}のどれか。

1. 感^{かん}覚^{かく}運^{うん}動^{どう}期^き
2. 前^{ぜん}操^{そう}作^さ期^き
3. 具^ぐ体^{たい}的^{てき}操^{そう}作^さ期^き
4. 形^{けい}式^{しき}的^{てき}操^{そう}作^さ期^き

61 乳^{にゅう}児^じの心^{しん}拍^{ぱく}測^{そく}定^{てい}で正^{ただ}しいのはどれか。

1. 心^{しん}拍^{ぱく}数^{すう} 110/分^{ふん}は正^{せい}常^{じょう}である。
2. 聴^{ちやう}診^{しん}ではⅠ音^{おん}とⅡ音^{おん}で2心^{しん}拍^{ぱく}である。
3. バスタオルで体^{たい}幹^{かん}および四^し肢^しを固^こ定^{てい}して測^{そく}定^{てい}する。
4. 呼^こ吸^{きゅう}周^{しゅう}期^きに関^{かん}連^{れん}した心^{しん}拍^{ぱく}リズ^{リズム}ムの不^ふ整^{せい}は異^い常^{じょう}である。

62 保^ほ護^ご者^{しゃ}による子^こどもへ^への虐^{ぎゃく}待^{たい}に対^{たい}する外^{がい}来^{らい}の看^{かん}護^ご師^しの対^{たい}応^{おう}で適^{てき}切^{せつ}な^なのはどれか。

1. 子^こども^{ぜんしん}の全^{かん}身^{さつ}の観^ほ察^ごでは、保^ほ護^ご者^{しゃ}の同^{どう}意^いを得^える必^{ひつ}要^{よう}がある。
2. プライバシー保^ほ護^ごのた^ため、他^た職^{しよく}種^{しゅ}との情^{じやう}報^{ほう}共^{きやう}有^{ゆう}はし^ない。
3. 子^こども^ほや保^ご護^{しゃ}者^はの発^{はつ}言^{げん}内^{ない}容^{よう}や様^{よう}子^すを記^き録^{ろく}に^の残^こす。
4. 保^ほ護^ご者^{しゃ}の同^{どう}席^{せき}の^こも^もと子^こども^{はなし}か^きら話^わを聞^きく。

63 事業主は雇用している女性労働者が妊婦健康診査を受けるために必要な時間を確保できるようにしなければならないと規定している法律はどれか。

1. 母体保護法
2. 労働基準法
3. 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律〈男女雇用機会均等法〉
4. 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律〈育児・介護休業法〉

64 Leopold〈レオポルド〉触診法で分かるのはどれか。

1. 胎 向
2. 胎児の筋緊張
3. 胎盤付着部位
4. 胎児の健康状態

65 子宮口全開大のときに破水した。

この破水はどれか。

1. 前期破水
2. 早期破水
3. 遅滞破水
4. 適時破水

66 頭位^{とう い}で出生^{しゅっせい}した直後^{ちよくご}の児^じの頭部^{とうぶ}に腫脹^{しゅちよう}を認め^{みと}た。腫脹^{しゅちよう}は骨縫合^{こつほうごう}を越え^こ、波動^{は どう}を触^ふれず、数日後^{すうじつご}に消失^{しょうしつ}した。

出生直後^{しゅっせいちよくご}に認め^{みと}られた児頭^{じとう}の腫脹^{しゅちよう}で考え^{かんが}られるのはどれか。

1. 産 瘤^{さん りゅう}
2. 骨重積^{こつじゅうせき}
3. 頭血腫^{とうけっしゅ}
4. 帽状腱膜下血腫^{ぼうじょうけんまく か けっしゅ}

67 患者^{かんじゃ}が看護師^{かん ご し}を愛情深い親^{あいじょうぶか おや}のような存在^{そんざい}とみなし、看護師^{かん ご し}に対して肯定^{こうていでき}的な感情^{かんじょう}を抱^{いだ}くのはどれか。

1. 投 影^{とう えい}
2. 共依存^{きょう い ぞん}
3. 反動形成^{はんどうけいせい}
4. 陽性転移^{ようせいてん い}

68 精神障害^{せいしんしょうがい}のある人^{ひと}のリカバリーで正しい^{ただ}のはどれか。

1. 症状^{しょうじょう}の回復^{かいふく}がゴールである。
2. 直線^{ちよくせんてき}的なプロセスをたどる。
3. 主体的^{しゅたいてき}に人生^{じんせい}を新た^{あら}に生き直^いすことである。
4. ストレス脆弱性^{ぜいじゃくせい}に焦点^{しょうてん}を当て^あてた支援^{し えん}である。

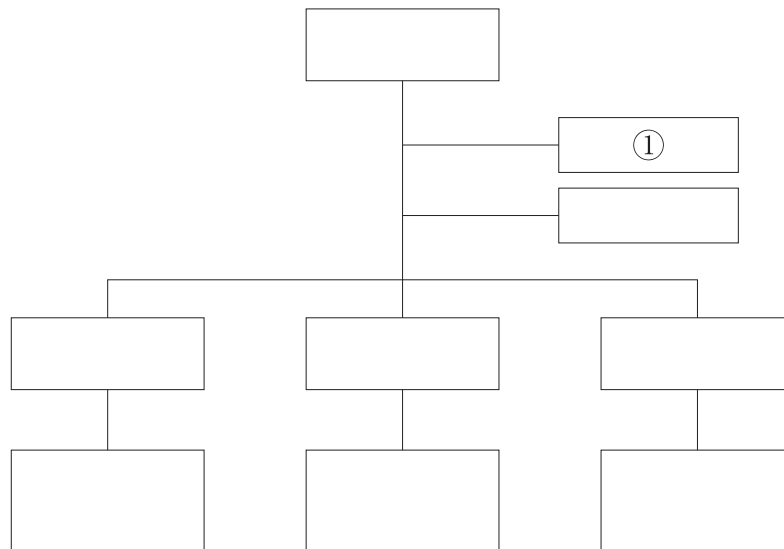
69 精神疾患の治療を受けている人との共同創造〈コプロダクション〉で正しいのはどれか。

1. 患者が医療者の指示に従って治療を受ける。
2. 患者が医療者から病気や治療について十分な説明を受ける。
3. 治療やケアの計画から提供まで医療者と患者がともに関わる。
4. 自ら助けを求めることが難しい人に対して、積極的に働きかけ支援を提供する。

70 退院後生活環境相談員について正しいのはどれか。

1. 措置入院の患者に対して選任される。
2. 入院3か月以上の患者が支援対象である。
3. 患者が居住の場を確保できるように調整する。
4. 担当できるのは精神保健福祉士と社会福祉士の2職種である。

71 病院の看護部の組織図を示す。



①の役割について正しいのはどれか。

1. 他部門に命令をする。
2. 組織の意思決定を行う。
3. 各機能を調整する責任をもつ。
4. 専門的な知識をもとに他部門に助言を行う。

72 プライマリナーシングの説明で適切なのはどれか。

1. 業務を短時間で効率よく実施できる。
2. リーダーの調整力が看護チームの目標達成に影響する。
3. 1人の看護師が1人の患者の入院から退院まで一貫して責任をもつ。
4. 日替わりで受け持ち看護師が変わるので看護ケアの継続が難しくなる。

73 医療安全について正しいのはどれか。

1. 患者から暴力を受けたと報告した医療従事者に暴力発生の責任を問う。
2. 与薬前に薬物の間違いに気づけばインシデントレポートは不要である。
3. 医療過誤とは医療事故の発生原因に医療機関、医療従事者の過失がある場合をいう。
4. インシデントを起こした医療従事者は気持ちが落ち着いた数日後にレポートを提出する。

74 災害時のこころのケアで正しいのはどれか。

1. こころのケアは発災直後から数週間で終了する。
2. 災害派遣精神医療チーム (DPAT) は航空機事故が発生したときにも活動する。
3. こころのケアチームを組織化する目的は福祉避難所で医療活動を行うためである。
4. サイコロジカルファーストエイド〈Psychological First Aid : PFA〉は発災1か月後に精神科医が行う。

75 生後1か月の乳児健康診査の際、外国籍の両親から子どもの予防接種について質問があった。父親は長期に日本で就労するため、子どもは定期予防接種を受けることができる。両親は「日本語が難しく、予防接種のスケジュールがよく分からない」と看護師に言った。

看護師の対応で適切なのはどれか。

1. 母国の大使館への相談を勧める。
2. 医療で使う言葉を覚えるように促す。
3. 地区担当の保健師への電話相談を提案する。
4. 両親が理解できる言語で書かれたパンフレットを渡す。

76 ^{しんぼう}心房と^{しんしつ}心室の^{あいだ}間を^{でん き てき}電氣的に^{けつごう}結合し、^{しんぼうがわ}心房側の^{こうふん}興奮を^{しんしつがわ}心室側に^{つた}伝えるのはどれか。

1. ^{しんきんそう}心筋層
2. ^{しんないまく}心内膜
3. ^{どうぼうけっせつ}洞房結節
4. His〈ヒス〉^{そく}束
5. Purkinje〈プルキンエ〉^{せん い}線維

77 ^{かんぞう}肝臓の^{き のう}機能はどれか。

1. ^{とう}糖の^{ちょぞう}貯蔵
2. ^{たんじゅう}胆汁の^{ちょぞう}貯蔵
3. ^{たいえきりょう}体液量の^{ちようせつ}調節
4. ^{たいえき}体液の^{ちようせつ}pH 調節
5. ホルモンの^{ふんぴつ}分泌

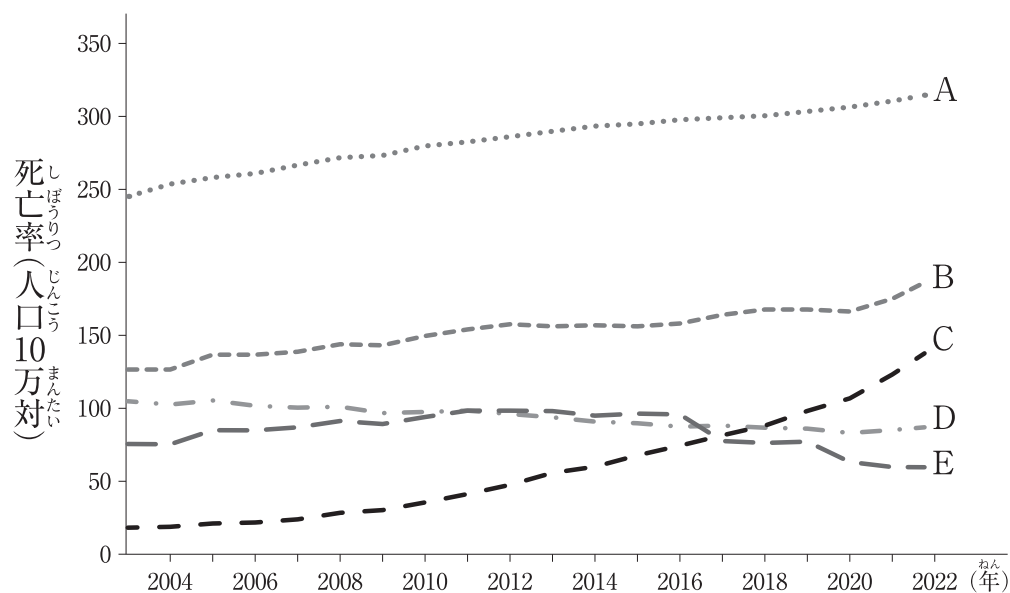
78 ^{じゅう ご}術後の^{かいふく か てい}回復過程で^{ぶ そく}エネルギー不足の^{ば あい}場合に^{たい}ケトン体の^{きょうきゅうげん}供給源となるのはどれか。

1. ^{にゅう}乳 ^{さん}酸
2. ^{にゅう}尿 ^{さん}酸
3. ^{し ぼうさん}脂肪酸
4. ^{たんぱくしつ}蛋白質
5. アンモニア

79 狭^{きょうさく}窄による血^{けつ}流^{りゅう}低^{てい}下^かで二^に次^じ性^{せい}高^{こう}血^{けつ}圧^{あつ}を起^おこす血^{けつ}管^{かん}はどれか。
secondary hypertension

1. 冠^{かん}動^{どう}脈^{みゃく}
2. 肝^{かん}動^{どう}脈^{みゃく}
3. 頸^{けい}動^{どう}脈^{みゃく}
4. 腎^{じん}動^{どう}脈^{みゃく}
5. 脳^{のう}動^{どう}脈^{みゃく}

80 日^に本^{ほん}の人口^{じんこう}動^{どう}態^{たい}統^{とう}計^{けい}の死^し因^{いん}別^{べつ}死^し亡^{ぼう}率^{りつ}の年^{ねん}次^じ推^{すい}移^いをグ^らフに示^{しめ}す。



Cの死^し因^{いん}はどれか。

1. 肺^{はい}炎^{えん}
pneumonia
2. 老^{ろう}衰^{すい}
3. 心^{しん}疾^{しつ}患^{かん}
heart disease
4. 脳^{のう}血^{けつ}管^{かん}疾^{しつ}患^{かん}
cerebrovascular disease
5. 悪^{あく}性^{せい}新^{しん}生^{せい}物^{ぶつ}〈腫^{しゅ}瘍^{よう}〉
malignant neoplasm

81 第2～第4 腰髄の障害の有無を把握するために確認するのはどれか。

1. 輻輳反射
2. 腹壁反射
3. 膝蓋腱反射
4. Trousseau〈トルソー〉徴候
5. Blumberg〈ブルンベルグ〉徴候

82 門脈系の血管はどれか。2つ選べ。

1. 肝静脈
2. 脾静脈
3. 食道静脈
4. 内腸骨静脈
5. 下腸間膜静脈

83 Aさん(35歳、女性)は1年前に子宮体癌のために単純子宮全摘出術と両側卵巢摘出術を受け、その後、ホルモン補充療法は受けずに健康に過ごしている。

Aさんの血液中で術前よりも濃度が上昇しているホルモンはどれか。2つ選べ。

1. テストステロン
2. プロゲステロン
3. エストラジオール
4. 黄体形成ホルモン〈LH〉
5. 卵胞刺激ホルモン〈FSH〉

84 後天性の大動脈弁狭窄症について正しいのはどれか。2つ選べ。
こうてんせい だいどうみゃくべんきょうさくしやう aortic stenosis

1. 二尖弁が多い。
に せんべん おお
2. 弁尖の石灰化による。
べんせん せつかい か
3. 左室壁は徐々に薄くなる。
さ しつへき じょじょ うす
4. 収縮期に心雑音を聴取する。
しゅうしゆく き しんざつおん ちやうしゆ
5. 心筋の酸素消費量は減少する。
しんきん さん そしやう ひりやう げんしやう

85 内臓脂肪の蓄積を推定するために用いるのはどれか。2つ選べ。
ないぞう し ぼう ちくせき すいてい もち

1. 身長
しん ちやう
2. 体重
たい じやう
3. 腹部CT
ふく ぶ
4. 腹囲〈ウエスト周囲長〉
ふく い しやう い ちやう
5. 血中トリグリセライド値
けつちやう ち

86 介護保険法で定める特定疾病はどれか。2つ選べ。
かい ご ほ けんぽう さだ とくていしつぺい ふた えら

1. ウイルス肝炎
かんえん viral hepatitis
2. 脊髄小脳変性症
せきずいしやうのうへんせいしやう spinocerebellar degeneration
3. 閉塞性動脈硬化症〈ASO〉
へいそくせいどうみゃくこう か しやう arteriosclerosis obliterans
4. メタボリックシンドローム
metabolic syndrome
5. 後天性免疫不全症候群〈AIDS〉
こうてんせいめんえき ふ ぜんしやうこうぐん acquired immunodeficiency syndrome

87 介護保険法で地域包括支援センターに配置が義務付けられているのはどれか。2つ選べ。

1. 介護福祉士
2. 社会福祉士
3. 介護支援専門員
4. 精神保健福祉士
5. 主任介護支援専門員

88 高齢者における感覚器の変化の特徴で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 高音域の聴力が保持される。
2. 痛覚の感受性が低下する。
3. 味覚の閾値が低下する。
4. 暗順応が低下する。
5. 嗅覚は保持される。

89 子どもの成長・発達で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 基本的な運動発達は末梢から中枢へ向かう。
2. 発達の臨界期は身体各部位によって異なる。
3. 成長とは身体機能が質的に変化することである。
4. 新生児期の成長・発達は環境よりも遺伝の影響が大きい。
5. 乳幼児期の脳神経系の発達は学童期と比べゆるやかである。

90 身長 160 cm、体重 60 kg の成人の体格指数(BMI)を求めよ。

ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第 2 位を四捨五入すること。

解答：

①

②

 .

③

0 0 0

1 1 1

2 2 2

3 3 3

4 4 4

5 5 5

6 6 6

7 7 7

8 8 8

9 9 9

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 91～93 の問いに答えよ。

A さん(88 歳、男性)は妻(82 歳)と 2 人で暮らしている。息子 2 人は独立して生活している。要介護度は 5 で、エアマットレスを使用している。食事は妻の介助で 1 日 1 回ペースト食を食べているがむせることもあり、食事が全くとれない日もある。排泄はオムツを使用し、毎日訪問介護サービスを利用して、オムツ交換と陰部洗浄を受けている。訪問看護は週 3 回利用している。A さんは妻が話しかけると返事はするが自発的な会話は無い。着替えをするときに上肢を動かすと苦痛表情がある。

91 A さんの家族への助言で適切なものはどれか。

1. 体位変換を 2 時間ごとに行う。
2. 関節可動域訓練を 1 週間に 1 回行う。
3. ペースト食を食べる回数を 1 日 3 回にする。
4. 食事を摂取できないときにも口腔ケアを実施する。

92 2 か月後、A さんは食事を口から食べることができなくなり、かかりつけの医師から家族へ、そろそろ看取りの時期であり、看取りの場所を決めるように説明があった。息子たちから「父が長年住んだ家で最期まで過ごさせてあげたいと母とも話していますが、母が 1 人でみるのは大変だと思い心配しています」と訪問看護師に話があった。

このときの訪問看護師の対応で適切なものはどれか。

1. 看取りまでの支援体制を説明する。
2. 血圧が低下したら入院が必要なことを説明する。
3. 決定した看取りの場所は変更できないことを伝える。
4. かかりつけの医師と訪問看護師で治療方法を決定する。

93 Aさんは声をかけても返答したり目を開けたりすることもなく、穏やかな表情で眠っていることが多くなった。Aさんの妻は「夫は話しかけても何も答えてくれないので、どうしたらよいか分かりません」と訪問看護師に話した。

このときの妻への声かけで適切なのはどれか。

1. 「Aさんの体にできるだけ触れるようにしましょう」
2. 「Aさんは苦痛を感じることはありません」
3. 「Aさんが休めるよう静かにしましょう」
4. 「Aさんの世話を頑張りましょう」

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 94～96 の問いに答えよ。

A さん(55 歳、男性、会社員)。激しい胸痛で救急搬送され、心筋梗塞と診断され
myocardial infarction
た。冠動脈バイパス術〈CABG〉を受け、ICU に入室した。

手術中の輸液量 2,700 mL、輸血量 400 mL、出血量 280 mL、尿量 200 mL であつ
た。手術から 6 時間が経過し、人工呼吸器が装着され、心嚢ドレーンと、胸腔ドレー
ンが留置中である。

身体所見：体温 37.1 °C、脈拍 63/分、血圧 126/62 mmHg、末梢冷感はなし。肺野全
体に湿性ラ音を聴取、漿液性の気道分泌物を認める。

検査所見：吸入酸素濃度 40 %、動脈血酸素分圧〈PaO₂〉95 Torr、動脈血炭酸ガス分圧
〈PaCO₂〉36 Torr、中心静脈圧 12 cmH₂O、心エコー検査では左室駆出率
〈LVEF〉45 %、心嚢液の貯留なし。胸部エックス線写真では両肺野の広範
に透過性の低下を認める。

94 A さんに起こっている可能性が高い合併症はどれか。

1. 低心拍出量症候群〈LOS〉
low output syndrome
2. 心タンポナーデ
cardiac tamponade
3. 肺水腫
pulmonary edema
4. 無気肺
atelectasis

95 術後 2 日、A さんは人工呼吸管理を離脱し、離床が検討されたが中止となった。
看護師が A さんの離床中止を判断した指標はどれか。2 つ選べ。

1. ドレーンが留置中である。
2. 安静時の呼吸数が 20/分である。
3. 安静時の心拍数が 100/分である。
4. 新たな不整脈(心房細動)が発生している。
arrhythmia atrial fibrillation
5. 時間尿量 0.5 mL/kg/時が 3 時間持続している。

96 術後3日、心臓リハビリテーションが開始された。

Aさんは「傷の痛みはありますが、血管をつないだから安心ですね。落ちついたら、家族と温泉に行きたいです」と看護師に話した。

Aさんの生活指導で適切なのはどれか。

1. 「肩までお湯に入りましょう」
2. 「お湯の温度は43℃以上にしましょう」
3. 「食後1時間以上経過してから入浴しましょう」
4. 「心筋梗塞による心不全があるので入浴は控えましょう」
myocardial infarction heart failure

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 97～99 の問いに答えよ。

A さん(57 歳、男性)は、芳香族アミンを扱う化学工場に 39 年勤務している。

げんびょうれき すう げつ し だい にょう いろ こ
現病歴：ここ数か月で次第に尿の色が濃くなった。いきまないと排尿できなくなり、
ひにょう き か じゅしん さいけつ にょうけん さ う
泌尿器科を受診し、採血および尿検査を受けた。

き おうれき とつ き てん
既往歴：特記すべき点なし。

せいかつれき きつえん ぼん にち ねんかん しょうちゅう いんしゅ まいにち ねんかんつづ
生活歴：喫煙 40 本/日を 36 年間、焼酎 120 mL の飲酒をほぼ毎日、20 年間続けている。

しんたいしよけん がんめん し し ふ しゅ こくしよくべん けつべん
身体所見：顔面、四肢に浮腫なし、黒色便なし、血便なし。

けん さ しよけん せつけつきゅう まん けつせい けつせいそう
検査所見：赤血球 308 万/ μ L、Hb 9.9 g/dL、血清アルブミン 4.2 g/dL、血清総ビリ
ルビン 0.2 mg/dL、血糖 102 mg/dL、ヘモグロビン A1c<HbA1c> 5.4 %。

97 A さんの尿所見で予測されるのはどれか。

- たんぱくにょう
1. 蛋白尿
- にょうとうようせい
2. 尿糖陽性
- にくがんできけつにょう
3. 肉眼的血尿
- にょう
4. ビリルビン尿

98 A さんは膀胱全摘出術および回腸導管造設術を受けることになった。

A さんへの術前の説明で正しいのはどれか。

- よくそう ゆ はい
1. 「浴槽のお湯に入ることはできません」
- すいぶん と す ちゅう い ひつよう
2. 「水分の摂り過ぎに注意が必要です」
- こうもん にょう で
3. 「肛門から尿が出ます」
- にょう い かん
4. 「尿意は感じません」

99 Aさんは術後から、これまではなかった勃起障害が出現した。Aさんのテストステロン値は13.5 pg/mL(50歳代の基準値：4.6～19.6 pg/mL)であった。

Aさんの勃起不全の原因で考えられるのはどれか。

1. 性ホルモン分泌の低下
2. 神経損傷
3. 糖尿病
4. 喫煙

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 100～102 の問いに答えよ。

A さん(80 歳、女性)は、アパートの 1 階に 1 人で暮らしている。半年前に軽度の Alzheimer (アルツハイマー) 型認知症と診断され、抗認知症薬の内服治療を開始した。要支援 2 の認定を受けている。

A さんが屋内でぐったりしているのを訪問した近所の人が発見し、救急搬送された。来院時のバイタルサインは、体温 36.5℃、呼吸数 20/分、脈拍 92/分、血圧 130/82 mmHg で、皮膚に軽度の発汗がみられた。頭痛や吐き気はなかった。看護師が A さんに状況を聞くと、最近では食欲がなく、食べたり飲んだりしていなかったし、昨日は排尿回数も普段より少なかったと話した。

100 このときに看護師が追加で収集する情報で優先度が高いのはどれか。

1. 睡眠状況
2. 口渇の有無
3. ADL の状況
4. 抗認知症薬の内服状況

101 Aさんは、経過を観察するため入院となった。入院2日、Aさんの全身状態は改善し、食事が開始された。Aさんは歩行時にふらつきがあるため、看護師が見守ることになった。看護師はベッドから離れるときは、ナースコールを押すようにAさんに説明した。そのときAさんは「忘れずにできるかしら」と呟いた。しばらくすると、Aさんが1人で移動しているところを看護師が発見した。

Aさんへの対応で適切なのはどれか。

1. ヒッププロテクターを使用する。
2. ベッドサイドに車椅子を設置する。
3. ナースコールが目立つように目印をつける。
4. 爪先が床につくようにベッドの高さを調整する。

102 入院3日。Aさんは明日の退院が決まった。看護師が朝食後に抗認知症薬の配薬に行くと、Aさんが「もう薬の時間ですか」と言った。また、自分の病室を間違えることが数回あった。

Aさんが退院後の在宅療養を継続するために、看護師が担当の介護支援専門員へ伝える情報で最も適切なのはどれか。

1. 歩行状態
2. 食事の摂取量
3. 入院中の治療内容
4. 認知機能障害の出現状況

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 103～105 の問いに答えよ。

A 君(12 歳、男児)は、肥満を心配した保護者に連れられて来院した。A 君と保護者は、医師から「1 日の食事内容を毎日記録し、1 週後に再診してください」と説明された。

き おうれき か ぞくれき とつ き
既往歴と家族歴：特記すべきことはない。

せいかつれき が し かんしよく この じ かん がた き
生活歴：スナック菓子などの間食を好む。時間があればポータブル型のゲーム機でサッカーゲームばかりして、就寝時刻は毎晩午前 0 時を過ぎる。A 君は、がっこうせいかつ たの おも あさ お ち こく どうこう おお
学校生活は楽しく思っているが朝起きられず遅刻して登校することが多い。
また、うんどう きら うんどう しゅうかん
運動することが嫌いなため運動の習慣はない。

しんたいしよけん しん ちよう ひよう じゅうん たい じゅう ひよう じゅうん けつ あつ
身体所見：身長 153.0 cm (標準 152.4 cm)、体重 61.7 kg (標準 44.1 kg)。血圧 100/60 mmHg。しんおん こきゅうおん い じょう ふく ふ へいたん なん かんぞう
心音と呼吸音に異常はない。腹部は平坦、軟で、肝臓とひぞう しよくち
脾臓を触知しない。

103 A 君の肥満度(%)に最も近いのはどれか。

1. 25
2. 30
3. 35
4. 40
5. 45

104 A君の1週間の食事内容の記録によると、野菜が不足し、高カロリーな菓子類や甘い飲み物を好んで摂取していることが判明した。A君と保護者は「食事内容を見直し、体重を減らすことが大切です」と医師から説明され、食事摂取基準のパンフレットを渡された。パンフレットには、学童期の脂質エネルギー比率(%エネルギー)は20~30%と記載されている。A君が診療を終えて帰宅する際、保護者は看護師に「痩せるために脂質は可能な限り0%にしないとだめですね」と話した。

脂質エネルギー比率(%エネルギー)に関する看護師の助言で適切なのはどれか。

1. 「標準的な目標量である25%程度が良いですよ」
2. 「当面は35%くらいだとストレスがないでしょう」
3. 「その通りです。0%に近づける努力をしましょう」
4. 「10%程度で成人になるまで続けるのが効果的です」
5. 「脂質は急に減らさず、野菜の摂取で栄養を補いましょう」

105 A君の保護者は「この機会に、Aの生活リズムの乱れも改善したいと思います。どんなことから始めるのが良いですか」と看護師に尋ねた。

看護師の説明で適切なのはどれか。

1. 「ゲーム機で遊ぶのを禁止しましょう」
2. 「起床したら朝日を浴びると良いでしょう」
3. 「サッカークラブに所属すると良いでしょう」
4. 「しばらく学校を休ませて自宅で生活リズムを整えましょう」

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 106～108 の問いに答えよ。

A 君(5 歳 6 か月、男児)は、二分脊椎のため、繰り返し使用できるカテーテルによる間欠的自己導尿を両親が実施している。現在、間欠的自己導尿は、保育所での実施を含めて 1 日 6 回行うよう医師が指示しており、自宅では両親が導尿している。A 君は下肢の運動機能障害があるが、自分で車椅子からトイレに移動でき、指先の微細な動きもできる。

がいらいじゅしん さい ははおや じ もと しょうがっこう にゅうがく よ てい しょうがくせい じ ぶん
外来受診の際に母親から「地元の小学校に入学予定です。小学生になったら自分で導尿できたほうが良いと聞きました。A も間欠的自己導尿をやりたい、と言っています。どのように進めたらよいか分からず、焦っています」と看護師に相談があった。

106 ははおや せつめい もっと てきせつ
母親への説明で、最も適切なのはどれか。

1. 「手順の中で、A 君ができることを段階的に行いましょう」
2. 「手技の失敗を繰り返すことが、A 君の自信につながります」
3. 「入学までに、A 君が自分で最後までできるようにしましょう」
4. 「最初のステップは、A 君がカテーテルの挿入を自分でできることです」

107 ご かん ご し くん しょうがっこう じ りつ かんけつてき じ こ どうよう
その後、看護師は、A 君が小学校で自立して間欠的自己導尿ができるようケア計画を立てた。

かんけつてき じ こ どうよう じっ し くん つた てきせつ
間欠的自己導尿の実施について A 君に伝えることで適切なのはどれか。

1. 「おしっこの出口をきれいにするため外側から内側に向かって拭くよ」
2. 「カテーテルの先はピンセット〈鑷子〉で持つよ」
3. 「カテーテルを入れておしっこが出てきたらその位置でカテーテルを止めるよ」
4. 「おしっこが出なくなったらカテーテルを急いで抜くよ」

108 11歳になったA君は間欠的自己導尿を自分で実施している。本日の定期受診時の尿検査で、尿蛋白+、赤血球(－)、白血球2+、尿の混濁+の所見がみられた。受診に付き添った父親から「最近、Aは親の言うことを聞かないし、あまり口をきいてくれません。家では自立して間欠的自己導尿を行っていますが、学校でもやっているのか心配です」と発言があった。A君の水分摂取や運動の状況は以前と変わらない。

がいらいかん　ご　し　たいおう　もっと　てきせつ
外来看護師の対応で最も適切なのはどれか。

1. 導尿の必要性をA君に説明する。
2. 学校での導尿の状況についてA君と話す。
3. 父親に、親が学校に行って導尿を実施するよう伝える。
4. 導尿の手順が書かれた表を渡し、できたところにA君にシールを貼ってもらう。

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 109～111 の問いに答えよ。

A さん(30 歳、初産婦)は妊娠 39 週 3 日で陣痛発生した。その後、陣痛が増強して
じゅんちょう ぶんべんしんこう しんだん にゅういん ご ぶんべん
順調な分娩進行と診断され、入院後に分娩した。

A さんの分娩経過を以下に示す。

じ ふん じんつうしゅう き ぶん
2 時 00 分 陣痛周期 10 分

じ ふん にゅういん
5 時 30 分 入院

じ ふん ぶんべんしつにゅうしつ
15 時 00 分 分娩室入室

じ ふん し きゅうこうぜんかいだい
15 時 30 分 子宮口全開大

じ ふん し ぜん は すい
15 時 40 分 自然破水

じ ふん じ べんしゅつ
16 時 20 分 児娩出

じ ふん たいばんべんしゅつ
16 時 30 分 胎盤娩出

じ ふん き しつ
18 時 30 分 帰室

109 A さんの分娩所要時間はどれか。

1. じ かん ふん
13 時間 00 分

2. じ かん ふん
14 時間 20 分

3. じ かん ふん
14 時間 30 分

4. じ かん ふん
16 時間 30 分

110 分娩直後の出血量は300 mLであった。分娩後1時間の出血量20 mL、子宮底は臍下2横指で硬度良好、脈拍75/分、血圧100/74 mmHgであった。分娩後2時間の出血は20 mL、子宮底は臍下1横指で硬度良好。脈拍75/分、血圧126/56 mmHgであった。児への早期授乳後に下腹部の痛みを訴えている。尿意があり少量の排尿があった。

Aさんのアセスメントで適切なものはどれか。

1. 尿閉である。
2. 下腹部痛は異常である。
3. 子宮復古が良好である。
4. 分娩時異常出血である。

111 児は出生2時間後、寝衣を着用しコットに収容された。児のバイタルサインは、体温(腋窩温)36.4℃、呼吸数40/分、心拍数120/分であった。また末梢の冷感はあるが、チアノーゼは認めなかった。排尿、排便はない。児の頬を軽く突くと刺激の方向を向き、口を開ける動作がみられる。また、腋窩と鼠径部に胎脂が付着している。

このときに必要なケアはどれか。

1. 掛け物を温めたものに交換する。
2. 口腔内吸引をする。
3. 肛門刺激をする。
4. 沐浴をする。

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 112～114 の問いに答えよ。

A さん(21 歳、女性、大学生)は、1 人で暮らしている。友人関係のトラブルでうつ状態になり、3 か月前から精神科クリニックへの通院を開始した。頓用の抗不安薬を処方され不安が高まったときに服用していたが、徐々に酩酊や陶酔感を得るために服用するようになった。最近では指示された抗不安薬の量では酩酊や陶酔感が得られなくなってきたため、数日分の薬を溜めて一度に大量に服用するようになった。抗不安薬を大量に使用した翌日は大学を休むことが続いていた。

112 A さんの現在の状態はどれか。

1. 急性中毒の状態である。
2. 拘禁反応が出現している。
3. 有害な使用〈乱用〉である。
4. フラッシュバックが出現している。

113 ある日の夜、A さんと突然連絡がつかなくなったことを心配した母親が、A さんのアパートを訪ねると、意識を失っている A さんを発見した。すぐに救急車を呼び、A さんは救命救急センターへ搬送された。翌朝、同じ病院の精神科病棟に転棟し、器質的検査および生理的検査では異常が認められなかった。救急隊からの情報によると、アパートには抗不安薬を大量に服用した痕跡があった。

入院後 48 時間から 72 時間にかけて A さんに出現する可能性が高い症状はどれか。

1. 幻覚
2. 感情鈍麻
3. 思考途絶
4. 妄想気分

114 入院後5日、物質使用障害〈依存症〉の診断を受け、治療によって状態が安定した
Aさんは退院の準備をすることになった。Aさんは1人暮らしを続けながら復学
を希望している。

Aさんに利用を勧める社会資源はどれか。

1. 行動援護
2. 同行援護
3. セルフヘルプグループ
4. 共同生活援助〈グループホーム〉

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 115～117 の問いに答えよ。

A さん(65 歳、女性)は、夫と 2 人で暮らしている。友人の死去後、食事量が減り、1 か月前から気分の落ち込みが強くなった。夫が積極的に散歩に誘っても、A さんは「体がだるい」「何をしても意味がない」と話し、寝つきも悪くなり、日中ほとんどの時間を臥床して過ごすようになった。心配した夫に連れられて精神科外来を受診したところ、うつ病と診断され、選択的セロトニン再取り込み阻害薬(SSRI)と不眠時の睡眠薬が処方された。夫から精神科外来の看護師に「日常生活で気を付けることはありますか」と質問があった。

115 A さんと夫に看護師が説明する内容で適切なのはどれか。

1. 「毎朝運動をする習慣を作りましょう」
2. 「食欲がないときは食事の回数を減らしましょう」
3. 「薬の飲み始めは吐き気や下痢に注意してください」
4. 「眠れないときは睡眠薬を早朝に飲んで構いません」

116 Aさんの症状は半年ほどで落ち着き、夫との散歩や料理を楽しみ、特に問題なく過ごせるようになった。精神科受診を終了して1年後、Aさんは再び家にこもりがちになった。夫の話では、急に料理の作り方や人の名前を何度も確認するなど、家事に時間がかかるようになった。Aさんは「何もできないと思っているでしょ」と、ささいなことに怒ったり、急に泣き出すことが増え、夫と一緒に精神科外来を再受診した。

頭部MRI検査の結果、多発性脳梗塞がみられ、血管性認知症と診断された。Aさんは「自分が認知症なんて信じられない。もう治らない」と話した。

Aさんに認められるのはどれか。2つ選べ。

1. 感情失禁
2. 観念奔逸
3. 強迫行為
4. 心気妄想
5. 実行機能障害

117 Aさんは要介護2の認定を受け、介護サービスを検討することになった。体調が良いときは、夫の料理を手伝ったり散歩に出かけている。排泄や着替えは時間をかけて1人でできるが、入浴は夫の介助が必要である。夫は「入浴のサポートを受けたり、自分が不在のときに泊まれる場所はないか」と話している。外来看護師がAさんの希望を聞くと「人が多い場所は苦手です。家の近くで好きなときに通えたり、家に来てもらえると安心です」と話した。

Aさんに紹介するサービスで適切なのはどれか。

1. 小規模多機能型居宅介護
2. 認知症対応型通所介護
3. 自立訓練
4. 療養介護

つぎ ぶん よ と こた
次の文を読み 118～120 の問いに答えよ。

午後 1 時に震度 6 強の地震が発生し、避難所が開設された。地震発生後の 2 時間後、避難所に救護所が設置され、近隣の病院から医療救護班が派遣された。医療救護班が複数の被災者に対応するなか、A さん(54 歳、男性)が搬送されてきた。A さんは右大腿部に 4 cm の切創があり出血部位をタオルで押さえている。すぐに看護師が切創部の処置を介助することになった。

118 このときの看護師の感染予防対策で正しいのはどれか。

1. ゴーグルを装着して処置の介助を行う。
2. 使い捨て手袋を 1 時間ごとに交換する。
3. 処置を行う前に破傷風のワクチンを受ける。
4. 看護師が着用するガウンに A さん用と記載し A さん専用にする。

119 発災翌日、避難所には 150 名ほどの避難者が登録をしている。医療救護班の医師から「この数日間で、インフルエンザの患者が病院で増えている。避難所でも注意したほうがよい」と看護師に助言があった。看護師は避難所運営者と連携して、避難所でのインフルエンザの集団発生防止策を立てることにした。午前 9 時現在、避難者の中には発熱や咳をしている有症者はいない。

避難所での集団感染を防止する対策で適切なのはどれか。

1. 避難所の床を毎日アルコールで清掃する。
2. 共同のトイレにあるタオルを毎日交換する。
3. 避難所の居住スペースの換気を 1 日 1 回行う。
4. 避難者に入所時からの体調を健康チェック表に記載してもらう。

120 発災3日後、Bさん(72歳、男性)が救護所を訪れた。地震で自宅が半壊したため、妻と避難所で生活している。Bさんは、左胸部から左腋窩にかけてピリピリとした持続する痛みを訴えた。看護師が観察すると、痛みの部位に沿って水疱を伴う浮腫性紅斑が確認できた。体温36.5℃、呼吸数12/分、脈拍66/分、血圧126/80 mmHg。

看護師がBさんに行う観察で優先度が高いのはどれか。

1. 痛みの持続時間を問診する。
2. 1週間の睡眠状況を問診する。
3. 痛みが限局しているか触診する。
4. 全身性の浮腫性紅斑か視診する。
5. ステロイド薬の長期投与の有無を問診する。

